



# 今議会に規約の 一部改正が提案

## 公立甲賀病院 経営形態を変更 独立行政法人化

公立甲賀病院の経営形態を地方独立行政法人化に移行するために「組合格約」の一部改正案が今議会に提案されています。甲賀病院組合議会では、基本的方向が示され実際に移行している病院への研修も行われてきましたが、甲賀市議会に対しては、11月20日の全員協議会で「勉強会」として甲賀病院から簡単な説明があっただけ。9月議会で市長は「しっかり説明がなされていくべきもの」と答弁していましたが、十分な説明がないままの提案です。病院の説明では「現在と(医療内容や体制は)変わらない」といいながら、「効率的・効果的な運営」が強調されました。「効率的・効果的」に経営の追求で果たして公立病院の役割が果たせるのでしょうか。6日の本会議では小西議員がこうした点から議案に対する質疑を行いました。また党議員団として甲賀病院関係者と懇談、独立行政法人化について意見交換しました。

開会中の12月議会は、6日本会議が再開され、議案に対する質疑が行われました。発言したのは、日本共産党の山岡・小西・岡田各議員と無所属クラブの竹若・奥田各議員、凜風会の土山議員のみ。■議案については各常任委員会に付託されました。

●市職員の処遇に関する議案では、岡田議員が職員の場合3年間の期間休業ができるよう条例改正する問題を。また山岡議員が育児や介護理由を対象に、一日7時間45分の勤務時間は変わらないものの出勤時間の早出遅出勤務を認めるという条例改正について、勤務事例や体制、残業時間等について質疑しました。

●主任介護支援専門員の定義が変更されたことに伴う地域包括支援センターに関する条例改正では岡田議員がこれまでの経験を生かして実態について質疑しました。

●台風21号災害復旧や仮称・まちづくりコアステーション建設事業や仮称・西部学校給食センター建設用地購入、水口体育館基本・実施設計、庁舎整備事業等緊急に対応が必要な事業を中心に1億7322万9千円の一一般会計増額補正については、小西議員が水口体育

### 議案質疑でも積極的に発言 問題の本質を突く

館基本・実施設計が約4千万円の予算に対し3千万円の減額補正となっている点について、西部学校給食センター用地購入についてはその規模・地目・所有者などについて聞きまし。岡田議員は「エーデル土山」で実施している生活支援ハウス業務委託が利用者増で増額されている点について、その実態と利用しやすいように要綱の要件緩和の必要性を指摘しました。山岡議員は、コアステーション建設事業が当初規模より拡大されている理由、維持管理は直営なのかについて聞きました。また来年度から家庭的保育事業が実施されるのに伴い施設整備のための補助160万円についても、その規模・事業者・保育体制について質しました。

●指定管理に関する議案については、山岡議員が市との協定、施設補修の負担などについて質しました。

## 一般質問傍聴を 11日

開会中の12月議会は、8日から4日間にわたり、21名の議員が一般質問を行います。11日の月曜日は、日本共産党の山岡光広(2番目)、岡田重美(3番目)、小西喜代次(4番目)が相次いで登壇します。ぜひ新しい議場に傍聴にお越しください。またインターネットやあいコムこうかでの中継でもご覧いただけます。

## 要求実現・近況

### 国保税の統一化やめよ…県に申入れ



来年4月から国保財政が都道府県単位化されるのに伴い、県が国保税(料)を統一化する方向で調整をすすめているため、日本共産党滋賀県地方議員団が11月28日、「県民の健康といのちを守る社会保障としての国保制度を堅持

するために、国保税(料)の統一化を撤回し設定にあたっては市町の裁量にゆだねること」と緊急の申し入れを行いました(写真)。申入れには甲賀市から山岡光広・岡田重美両議員が参加。山岡議員は、新法成立の際、参院の付帯決議で「医療費水準に地域差がある現状に鑑み、受けられる医療サービスに見合わない保険料負担とならないよう配慮すること」としている点や国保運営にあたっては県と市町が連携することが大事と強調している点を指摘しながら、県の問題点を指摘し市町の裁量を認めよと求めました。県の試算によると甲賀市の国保税は現行より引き上がる予定。

## 日本共産党

### 甲賀市議員団ニュース

2017年 12月 10日 第194号



山岡 光広  
甲南町森尻 16  
TEL 86-2985  
Fax 86-0415



小西喜代次  
信楽町勅旨 456  
TEL 83-0765  
Fax 83-0765



岡田重美  
土山町南土山甲 78-15  
TEL 66-0696  
Fax 66-0696